授業科目	保育内容「人間関係」の指導法					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	阿南　寿美子						
授業概要	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらい・内容に基づき、乳幼児が園生活において育む「人とかかわる力（社会性）」について解説する。また集団形成やグループ活動、問題行動についての理解を深める。						
授業形態	演習			授業方法	実践事例をもとにグループワークや発表、解説を行います。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 ・領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ・領域「人間関係」において、幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 ・幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ・領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ・指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ・模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけている。 ・領域「人間関係」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 ・園生活における「人とかかわる力」の育ちについて、遊びとも関連させながら説明できる。 ・園生活における子どもの集団形成やグループ活動について、実習経験も参考にしながら説明できる。 ・園生活におけるけんかや問題行動と保育者の対応について、実習経験も参考にしながら説明できる。 ・乳幼児の「人とかかわる力」を育てるための保育者の働きについて、実習経験も参考にしながら説明できる。 園生活における「人とかかわる力」の育ちについて、個と集団の関係、遊びと関連させながら説明することができる。また、乳幼児の「人とかかわる力」を育てるための保育者の援助について説明することができる。
理想的レベル	子ども同士、子どもと保育者、保育者と保護者等、領域「人間関係」についての知識を理解した上で、保育者としての適切な援助を行うことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	30%	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	15%	
レポート外の提出物	25%	コメントシートや指導案など
その他	10%	授業内の貢献度など

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21313J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及びその解説（平成 29 年告示）に目を通しておく。	1

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」① 科目の位置づけ、領域「人間関係」基本的事項について理解する。
第 2 回	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」② 領域「人間関係」と他の領域との関連について理解する。
第 3 回	「人とかかわる力」の発達① 依存から自立・自律へ発達する過程について理解する。 愛着関係について振り返る。
第 4 回	「人とかかわる力」の発達② 遊びとの関連について理解する。 ※小テスト
第 5 回	園生活における「人とかかわる力」の発達③ 関わり意識の育ちと役割活動について理解する。
第 6 回	園生活における集団活動の展開① 役割活動の「必要感」と「必然性」について理解する。
第 7 回	園生活における集団活動の展開② 「仲間とのふれあい」への手がかりについて理解する。 ※小テスト
第 8 回	他者との関わりを見通した保育① 集団の形成・存続とその構造について理解する。 集団を意識した指導計画を考える。
第 9 回	他者との関わりを見通した保育② 模擬保育を行う。
第 10 回	他者との関わりを見通した保育③ 模擬保育を振り返る。
第 11 回	保育者の役割① 環境としての保育者としての関わりを考える。
第 12 回	保育者の役割② 子どもの人権と不適切保育について考える。

第 13 回	乳幼児におけるけんか・いざこざ 社会的葛藤を経験することの意義について理解する。 けんか・いざこざの際の保育者の対応について理解する。
第 14 回	「人とかかわる力」の発達を促す保育者の役割 保育者の協力体制と役割について理解する。
第 15 回	まとめ 授業内容についてのまとめと振り返りを行う。
テキスト	保育内容「人間関係」と指導法（近喰晴子・小泉裕子 編著、中央法規、2023）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成 29 年告示） 社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」：乳幼児期から小学校へつなぐ非認知能力とは（無藤隆、古賀松香 編著、北大路書房）
課題に対するフィードバックの方法	小テストや実践の振り返りは授業内で行います。
学生へのメッセージ・コメント	日常から、子どもにかかわる出来事やニュースに興味・関心をもち、自分なりの解釈や考察を試みることが大切です。また、実習で子どもや保育者を観察するときには、領域「人間関係」で示されているねらいについて意識しながら行ってみましょう。 授業で取り扱う事例については基礎的事項ではありますが、実際に自分が関わる内容として考えてみてください。そのうえで、他の学生の意見や教員からの解説を聞き、いろいろな考え方や援助のあり方に触れてみましょう。